

ギコンくん
が
いく

光庭



こんにちは、ギコンくん
です。このコーナーでは、
特許庁での気になるト
ピックを紹介しています。
今回は、特許庁庁舎にま
つわる話をお届けします。



「コレじいさん、新年明けましておめでとうございます。」
ギコンくん。今年も元旦に特許庁に来たのか。感心じゃの
う。おや、その手はどうしたのじゃ。まさか、今年は午年
だからと馬に格好良く乗ろうとしたのにうまくいかず、馬
のしっぽにしがみついたのではあるまいな。

「ぎくっ。そ、それより、コレじいさん、光庭について知
りたいです。昨年の年末、光庭に面した会議室で年賀状を
書いていたのですが、ふと、光庭がなぜ設けられているの
か気になりまして……」

何事にも好奇心を持つことは良いことじゃ（ワシのところ
に年賀状が届いていないのじゃが……）。

それでは、今回は光庭についての話をするとしようかのう。
すでに知っておると思うが、光庭は、南北約1200㎡ずつ
の審査室の中央に設けられておる。光庭が設けられた目的
は主に2つあるのじゃ。第1の目的は、光庭の採光窓によっ
て、室内に採光するとともに、南北の審査室間の視覚的つ
ながりを持たせるようにしたこと。そして、第2の目的は、
光庭を通して、1階のホールへも自然光を導き、1階のホー
ルから見上げたときに上層階の審査室との視覚的なつな
がりを持たせるようにしたことなのじゃ。

「採光だけじゃなく、南北の審査室間の空間や、1階のホー
ルと上層階の審査室とのつながりまで意識して光庭が設け
られているのですか。単なる無駄な空間かと思っていたの
ですが、そのような目的があったのですね。ただ、光庭を
通して、16階の最上階から1階展示ホールまで自然光が普
通に届くと思えないのですが……。」

おや。良いところに気がついたのう。実は、光庭に面した
カーテンウォールの一部には自然光を反射させる熱線反射
ガラスを使用しているのじゃよ。自然光をそのガラスに反
射させることで、最上階の16階から1階のホールまで自
然光が届きやすくしておるのじゃ。

「パテッ!! そんな細かい工夫がなされていたのですか。全
然気が付きませんでした。季節によって、光庭から審査室



に眩しい光が入ってくるのもその熱線反射ガラスが原因な
のですね。」

そういうことになるかもしれない。また、熱線反射ガラス
を使用しておるから、窓際の温度が上がってしまうのを防
ぐことにもなっておるのじゃよ。

「なるほど。光庭のカーテンウォールの一部に熱線反射ガ
ラスを使用することは、一石二鳥ですね！ 光庭について
勉強になりました。ありがとうございました。」

ほっほっほ。これでまた一步特許庁のマスコットキャラ
クターに近づけたのう。ほれ。お待ちかねのお年玉じゃ。

「ありがとうございます！ よし、これでニンジンを買って
仲良くなれば、今度こそ……」

ん、何か言ったかの？

「い、いえ、何にも。あっ、そうだ。コレじいさん。これ私か
らの年賀状です。今年もどうぞよろしく願います。」

参考文献：特許庁庁舎の記録

（文：特技懇編集委員会）

